

2011年度

科目名	化学療法学				
担当教員	小山 豊、綿野 智一				
配当	薬科3			コード	13070
開期	後期	講時	月曜日3限	単位数	2
授業テーマ	【必修】 悪性新生物による疾患および感染症を治療する薬物				
目的と概要	病原微生物の感染や癌の発生は人の生命を脅かすもので、これらにより生じる疾患に対して多くの薬物が用いられています。化学療法学では、「体内で異常に増殖あるいは複製することにより人体に疾患を生じる細菌、ウイルスなど、および悪性新生物に対する薬物の作用機序を理解し、薬物治療へ応用できるようになるために、抗菌薬、抗悪性腫瘍薬などに関する基本的知識を修得する」ことを一般目標とし授業を進めます。 (日本薬学会モデルコアカリキュラム C14(5)「病原微生物・悪性新生物と戦う」、およびA(2)「医療の担い手としてのこころ構え」の一部に対応)				
成績評価法	期末時に行う試験(98点)および平常点(2点)により、100点満点で評価します。				
テキスト	薬理学一医薬品の作用一/竹内幸一、福井裕行、栗原順一 編/廣川書店				
参考書	ファーマシューティカルノート 第2版/百瀬弥寿徳 編/医学評論社 New薬理学/田中千賀子、加藤隆一 編/南江堂				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	授業3回ごとに小テストを行い、各受講生の目標への到達度をフィードバックして行きます。				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	悪性腫瘍(総論)(小山)	1.医薬品の使用に関する事故回避における、薬剤師の重要性を認識する。	A(2)	知識・態度
			2.悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。	C14(5)	知識
			3.悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけについて概説できる。	C14(5)	知識
			4.化学療法薬が有効な悪性腫瘍を、治療例を挙げて説明できる。	C14(5)	知識
2	講義	悪性腫瘍(各論)(小山)	1.悪性腫瘍の病態生理、症状、治療について概説できる。	C14(5)	知識
			2.悪性腫瘍の治療における薬物治療の位置づけについて概説できる。	C14(5)	知識
			3.化学療法薬が有効な悪性腫瘍を、治療例を挙げて説明できる。	C14(5)	知識
3	講義	抗悪性腫瘍薬(総論)(小山)	1.代表的な抗悪性腫瘍薬を列挙できる。	C14(5)	知識
			2.代表的な抗悪性腫瘍薬の基本構造を示すことができる。	C14(5)	知識
4	講義	抗悪性腫瘍薬(アルキル化薬、白金錯体、抗腫瘍抗生物質)(小山)	1.代表的なアルキル化薬を列挙し、作用機序を説明できる	C14(5)	知識
			2.代表的な白金錯体を挙げ、作用機序を説明できる。	C14(5)	知識
			3.代表的な抗腫瘍抗生物質を列挙し、作用機序を説明できる。	C14(5)	知識
5	講義	抗悪性腫瘍薬(代謝拮抗薬、植物アルカロイド、ホルモン関連薬)(小山)	1.代表的な代謝拮抗薬を列挙し、作用機序を説明できる。	C14(5)	知識
			2.抗腫瘍薬として用いられる代表的な植物アルカロイドを列挙し、作用機序を説明できる。	C14(5)	知識
			3.抗腫瘍薬として用いられる代表的なホルモン関連薬を列挙し、作用機序を説明できる。	C14(5)	知識

6	講義	抗腫瘍薬の耐性と副作用(小山)	1.主要な抗悪性腫瘍薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。	C14(5)	知識
			2.副作用軽減のための対処法を説明できる	C14(5)	知識
			3.主要な抗悪性腫瘍薬に対する耐性獲得機構を説明できる。	C14(5)	知識
7	講義	感染症総論(綿野)	1.主な感染症を列挙し、その病態と原因を説明できる。	C14(5)	知識
8	講義	抗菌薬1(綿野)	1.抗菌薬を作用点に基づいて分類できる。	C14(5)	知識
			2.代表的な抗菌薬の基本構造を示すことができる。	C14(5)	知識
			3.代表的な抗菌薬の使用上の注意を説明できる。	C14(5)	知識
9	講義	抗菌薬2(β -ラクタム系、テトラサイクリン、マクロライド系)(綿野)	1.代表的な β -ラクタム系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。	C14(5)	知識
			2.テトラサイクリン系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。	C14(5)	知識
			3.マクロライド系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。	C14(5)	知識
10	講義	抗菌薬3(アミノ配糖体系、ピリドンカルボン酸系、サルファ剤ほか)(綿野)	1.アミノ配糖体系抗菌薬を抗菌スペクトルに基づいて分類し、有効な感染症を列挙できる。	C14(5)	知識
			2.ピリドンカルボン酸系抗菌薬の抗菌スペクトルと、有効な感染症を列挙できる。	C14(5)	知識
			3.サルファ薬(ST 合剤を含む)の有効な感染症を列挙できる。	C14(5)	知識
			4.代表的な抗結核薬を列挙し、作用機序を説明できる。	C14(5)	知識
11	講義	生物学的製剤(綿野)	1.細菌感染症に関係する代表的な生物学的製剤を挙げ、その作用機序を説明できる。	C14(5)	知識
			2.特徴的な組織移行性を示す抗菌薬を列挙できる。	C14(5)	知識
12	講義	抗真菌薬および抗原虫・寄生虫薬(綿野)	1.代表的な抗真菌薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。	C14(5)	知識
			2.代表的な抗原虫・寄生虫薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。	C14(5)	知識
13	講義	抗ウイルス薬(小山)	1.代表的な抗ウイルス薬を列挙し、作用機序および臨床応用を説明できる。	C14(5)	知識
			2.抗ウイルス薬の併用療法において考慮するべき点を挙げ、説明できる。	C14(5)	知識
14	講義	抗菌薬の耐性と副作用(小山)	1.主要な化学療法薬の耐性獲得機構を説明できる。	C14(5)	知識
			2.主要な化学療法薬の主な副作用を列挙し、その症状を説明できる。	C14(5)	知識
15	講義	まとめ			
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
A(2)、C14(5)	講義	講義室	1(0)	配布資料(プリント、電子テキスト)	90分 x 15